



## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日  
上場取引所 東

上場会社名 バリュエンスホールディングス株式会社  
コード番号 9270 URL <https://www.valuence.inc/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 寄本 晋輔  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 慎一郎 (TEL) 03-4580-9983  
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第3四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	61,387	14.4	△622	—	△754	—	△659	—
2023年8月期第3四半期	53,673	20.9	1,340	43.5	1,238	40.9	640	74.1

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 △600百万円 (—%) 2023年8月期第3四半期 596百万円 (26.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	△50.79	—
2023年8月期第3四半期	49.70	49.41

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第3四半期	29,398	7,966	26.0
2023年8月期	27,675	8,834	30.7

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 7,648百万円 2023年8月期 8,485百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,400	8.2	△600	—	△740	—	△1,890	—	△145.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期3Q	13,532,950株	2023年8月期	13,427,550株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	506,579株	2023年8月期	497,630株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期3Q	12,984,571株	2023年8月期3Q	12,890,557株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業展開するリユース業界は、今後も継続的な成長が見込まれており、2022年のリユース市場規模は前年比7.4%増の2兆8,976億円となりました。また、2030年にはその市場規模は4兆円に到達すると見込まれております。(出所：株式会社リフォーム産業新聞社「リユース業界の市場規模推計2023(2022年版)」(2023年9月))

当社グループは、地球環境も含めた持続可能性を高め中長期的な競争優位性を確立することが必要不可欠であるという認識のもと、「Circular Design for the Earth and Us」をパーパスに設定し、2030年に「Circular Design Company」の実現を目指しております。

2025年8月期を最終年度とする中期経営計画「VG1000 ver2.0」においては、既存のCtoBtoBモデルのグローバル展開、グローバルも含めた小売の強化、顧客・パートナーとの関係強化によるリカーリング型ビジネスへの転換を戦略とし、事業を推進しております。なお、現中期経営計画の対象期間は、2026年8月期以降の飛躍に必要なあらゆる機能の実装・充実化を進める投資期と位置付けております。

2024年8月期は、新規出店とWEBマーケティングによる仕入強化に加え、アライアンス戦略の拡大、リピーター拡大のためのCRM強化による仕入拡大に引き続き注力するほか、国内小売店舗の新規出店やtoB、toC同時出品の実現を中心としたtoC強化に加え、自動車事業の強化に取り組み、ブランド品以外の実物資産への領域拡大に注力いたします。また、海外においても仕入におけるWEBマーケティングの強化、グローバルEC構築による小売拡大等グローバルへの投資にも注力してまいります。

なお、既存のtoB領域においては、SaaS型新機能提供先の拡大、フルフィルメントサービスの強化等、オークションプラットフォーム充実に向けた新機能の実装や新サービス提供の検討も継続してまいります。

上記計画に基づいた事業活動の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	53,673	61,387	7,713	14.4%
営業利益又は営業損失(△)	1,340	△622	△1,963	-
経常利益又は経常損失(△)	1,238	△754	△1,993	-
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は四半期純損失(△)	640	△659	△1,300	-

当第3四半期連結累計期間における具体的な取組は以下のとおりであります。

買取面においては、店頭買取を軸に、百貨店など他業種とのアライアンスによる買取強化にも引き続き注力いたしました。また、海外においても国内同様WEBマーケティングの強化を開始し、店舗網拡大との相乗効果による仕入拡大を企図しております。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における仕入高は45,936百万円(前年同期比5,247百万円増、同12.9%増)となりました。

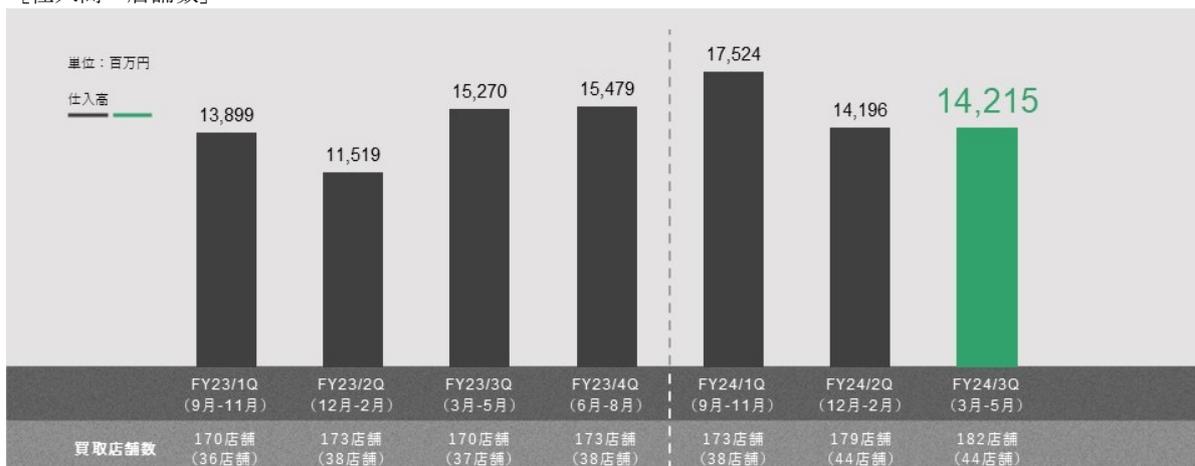
当第3四半期連結会計期間末の買取店舗数は、国内の新規出店及び海外におけるパートナー店舗を中心とした出店により、国内138店舗、海外44店舗の合計182店舗となりました。

また、当第3四半期連結会計期間においては、地金相場が好調に推移した一方で、売上総利益率を重視した買取に注力したことから、仕入高は14,215百万円(前年同期比1,054百万円減、同6.9%減)となりました。

なお、上記の仕入高には株式会社米自動車の仕入高実績を含んでおりません。

仕入高・店舗数の四半期推移につきましては以下のとおりであります。

[仕入高・店舗数]



※1 店舗数には海外店舗も含む。( )はそのうちの海外店舗数。

※2 FY23/3QからPL連結した株式会社米自動車の仕入高実績は除く。

販売面においては、小売店舗の新規出店やインバウンド需要等により小売売上が増加したことに加え、地金相場が引き続き高水準で推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は61,387百万円（前年同期比7,713百万円増、同14.4%増）となりました。

自社オークションについては、第1四半期連結会計期間における海外パートナーの買い意欲の落ち込みやダイヤモンドオークション（STAR BUYERS AUCTION 香港）休会等の一過性要因により売上が減少いたしました。第2四半期連結会計期間以降は堅調に推移しております。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の自社オークション売上高は28,470百万円（前年同期比661百万円減、同2.3%減）となりました。一方、自社オークションにおける委託については、SaaS型新機能の利用拡大も貢献し、当第3四半期連結累計期間のGMV（流通取引総額）が10,861百万円（前年同期比3,014百万円増、同38.4%増）と過去最高を更新いたしました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の自社オークション手数料売上高は2,202百万円（前年同期比134百万円増、同6.5%増）となりました。

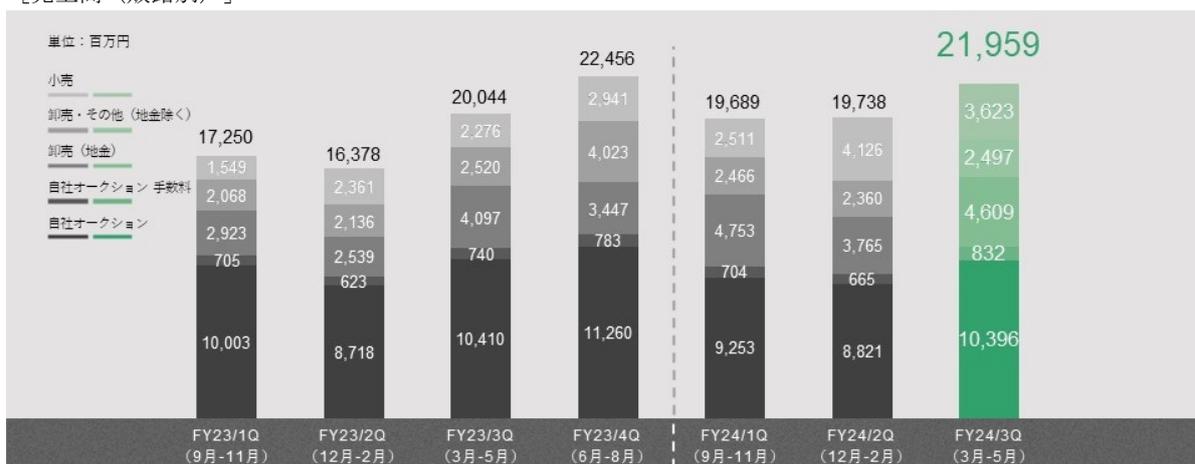
小売については、ALLU心齋橋ANNEXのオープン（2023年12月）や旺盛なインバウンド需要により特に店舗売上が好調に推移いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の小売売上高は10,261百万円（前年同期比4,074百万円増、同65.9%増）となりました。更に、地金相場が好調に推移した結果、当第3四半期連結累計期間の卸売（地金）売上高は13,128百万円（前年同期比3,567百万円増、同37.3%増）となりました。

また、当第3四半期連結会計期間の売上高は21,959百万円（前年同期比1,914百万円増、同9.6%増）となりました。

足元の小売立ち上げ状況を考慮し、期首より小売向けに確保していた商品の一部自社オークションにて販売する等、販路を再選定しながら在庫入替を進めた結果、当第3四半期連結会計期間の自社オークション売上高は10,396百万円（前年同期比14百万円減、同0.1%減）となりました。小売については、店舗数が4店舗となり、インバウンド需要も引き続き旺盛であったこと等から、当第3四半期連結会計期間の小売売上高は3,623百万円（前年同期比1,347百万円増、同59.2%増）となりました。

売上高（販路別）の四半期推移につきましては以下のとおりであります。

[売上高（販路別）]



※ 株式会社社自動車の売上高は卸売・その他（地金除く）に含む。

当第3四半期連結会計期間においては、インバウンド顧客向け販売好調による国内小売売上高の拡大や、自社オークションにおける国内パートナーの買い意欲が引き続き旺盛であったこと、地金売上高の拡大等により、国内売上高は17,768百万円（前年同期比1,924百万円増、同12.1%増）、海外売上高は4,191百万円（前年同期比9百万円減、同0.2%減）となりました。なお、海外売上高比率は第2四半期連結会計期間から横ばいの19.1%となりました。

売上高（国内・海外）の四半期推移につきましては以下のとおりであります。

[売上高（国内・海外）]



当第3四半期連結累計期間における売上総利益率は23.5%（前年同期比3.3ポイント減）となりました。これは、仕入競争環境の激化に伴い仕入単価が上昇していることや、第2四半期連結累計期間において小売の売上総利益率が低下したこと等によるものでありますが、当第3四半期連結会計期間より売上総利益率重視の買取に切り替えたことにより、当第3四半期連結会計期間における売上総利益率は25.5%と第2四半期連結会計期間から3.1ポイント改善いたしました。

また、当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は15,066百万円（前年同期比2,006百万円増、同15.4%増）となりました。人員配置の見直しや買取店舗の効率化等を行ったものの、小売店舗であるALLU新宿店や国内買取店舗の出店に伴う地代家賃の発生、WEBマーケティング強化等、先行投資を含む費用が増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における営業損失は622百万円（前年同期比1,963百万円減）となりました。なお、当第3四半期連結会計期間においては、売上総利益率が改善したことにより、営業利益は429百万円（前年同期比405百万円減、同48.5%減）となりました。

当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて380百万円増加し、19,607百万円となりました。この主な要因は、資金調達による現金及び預金の増加120百万円や、売掛金の増加197百万円等によるものであります。固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,342百万円増加し、9,790百万円となりました。この主な要因は、小売店舗の出店等による有形固定資産の増加287百万円、システム開発に伴うソフトウェア及びソフトウェア仮勘定等の無形固定資産の増加265百万円、小売店舗の出店に係る差入保証金の発生や繰延税金資産の計上による投資その他の資産の増加790百万円等によるものであります。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて1,722百万円増加し、29,398百万円となりました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,610百万円減少し、11,211百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が3,401百万円減少したこと等によるものであります。固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて6,201百万円増加し、10,220百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が6,285百万円増加したこと等によるものであります。これらの結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて2,590百万円増加し、21,431百万円となりました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて867百万円減少し、7,966百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払により利益剰余金が1,047百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間における業績を踏まえ、2024年8月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年7月12日)公表いたしました「通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」及び「2024年8月期 第3四半期決算説明資料」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,336,308	8,456,802
売掛金	798,816	996,186
商品	7,633,221	7,493,354
未収消費税等	1,629,030	1,336,387
その他	1,192,390	1,833,775
貸倒引当金	△362,576	△509,210
流動資産合計	19,227,190	19,607,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,890,202	3,022,106
その他(純額)	916,692	1,071,945
有形固定資産合計	3,806,894	4,094,052
無形固定資産		
のれん	543,696	489,327
その他	1,549,577	1,869,301
無形固定資産合計	2,093,274	2,358,628
投資その他の資産		
関係会社株式	228,014	220,068
差入保証金	1,479,347	1,971,894
その他	840,794	1,146,343
貸倒引当金	△174	△150
投資その他の資産合計	2,547,981	3,338,156
固定資産合計	8,448,150	9,790,837
資産合計	27,675,341	29,398,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	393,345	393,501
短期借入金	11,101,376	7,700,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	711,667	692,936
未払法人税等	408,823	115,491
賞与引当金	316,640	502,315
資産除去債務	—	2,294
その他	1,690,390	1,604,814
流動負債合計	14,822,243	11,211,352
固定負債		
社債	700,000	500,000
長期借入金	2,295,605	8,580,624
資産除去債務	793,973	835,596
その他	229,252	304,282
固定負債合計	4,018,831	10,220,502
負債合計	18,841,074	21,431,855
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,219,780	1,295,404
資本剰余金	1,425,798	1,501,423
利益剰余金	6,331,587	5,284,115
自己株式	△668,432	△668,488
株主資本合計	8,308,733	7,412,455
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	177,264	236,044
その他の包括利益累計額合計	177,264	236,044
新株予約権	348,268	317,778
純資産合計	8,834,266	7,966,278
負債純資産合計	27,675,341	29,398,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
売上高	53,673,711	61,387,550
売上原価	39,272,480	46,943,319
売上総利益	14,401,230	14,444,231
販売費及び一般管理費	13,060,686	15,066,794
営業利益又は営業損失(△)	1,340,544	△622,562
営業外収益		
受取利息	267	599
デリバティブ評価益	2,420	1,808
為替差益	—	88,551
その他	30,161	26,659
営業外収益合計	32,848	117,619
営業外費用		
支払利息	56,761	78,218
支払手数料	3,878	150,388
為替差損	41,658	—
持分法による投資損失	4,521	7,945
その他	27,649	13,344
営業外費用合計	134,469	249,897
経常利益又は経常損失(△)	1,238,923	△754,841
特別利益		
固定資産売却益	—	2,087
債務免除益	95,870	—
特別利益合計	95,870	2,087
特別損失		
減損損失	165,015	19,519
事務所移転費用	63,335	—
特別損失合計	228,350	19,519
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,106,443	△772,273
法人税、住民税及び事業税	507,742	191,956
法人税等調整額	△42,003	△304,656
法人税等合計	465,739	△112,699
四半期純利益又は四半期純損失(△)	640,704	△659,574
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	640,704	△659,574

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	640,704	△659,574
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△44,044	58,780
その他の包括利益合計	△44,044	58,780
四半期包括利益	596,659	△600,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,659	△600,794

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。